呪術が信じられている？

白川 千尋（しらかわ ちひろ）
本館先端人類科学研究部

ヴァヌアツの呪術

今ではそうでもなくなってきたが、文化人類学では、特定の地域で古くからおこなわれてきたり、伝えられてきたりしたものごとを、研究の対象にすることが多かった。そんなものごとのひとつに呪術がある。と言うと、わら人形に五寸釘を打ち込む呪いの術などを思い出す人もいるかもしれない。たしかに、相手に害をおよぼすために使われるそうした術は、呪術のなかに含められてきたものだ。

わたしのフィールドである南太平洋のヴァヌアツでも、呪術に関する話を耳にすることがある。使い手によって堅く秘密にされているので、詳しいやり方はわからない。噂によれば、人骨や動物の骨などでできた呪物を食べ物に入れたり、木の洞に相手の食べ残しを入れて呪文をかけたり、イヌやコウモリなどに変身して相手に近づき、素手で腹を割いて腸を引きずり出すなど、いろいろな方法があるらしい。「わら人形に五寸釘」と同じように何やら不思議なものが多く、人びとのあいだでもこうした術は、常識的には考えられない非（超）現実的なものととらえられている。英語では呪術をマジックと言うけれども、まさにそれだ。

呪術の話を耳にするのは、ヴァヌアツ人の友人たちと雑談をしているときなどが多い。ただ、そのような機会がなくとも、呪術に関する話題に接することのできる場合がある。たとえば、地元の新聞には、呪術に関する出来事やエピソードを取り上げた記事が（たまに）載ることがある。首都のポートヴィラでは昨年、ふたつの島の出身者たちによる死者の出るような争いが起きたが、呪術の被害をめぐるもめ事が引き金になったことが、地元紙だけでなく海外のニュースでも取り上げられた。

都市化、キリスト教化

この調子で書いてゆけば、「ヴァヌアツの人びとのあいだでは呪術が信じられている」と思う人も出てくるだろう。なかには、「呪術が信じられている」ことから、「ヴァヌアツの人びとは未開の世界に暮らしているのだろう」と想像する人もいるかもしれない。しかし、実際は違う。

たとえば、国内には先の争いの舞台になったポートヴィラのような都市がある。ポートヴィラは人口三万人ほどと、日本の基準から見ればかなり小さい。それでも、最近は人口がどんどん増えている。小さいとはいえ、銀行やスーパーマーケット、ネットカフェ、レストランなど、都市にありそうなものはだいたいそろっている。また、ポートヴィラはもちろん、電気、ガス、水道のない離島でも、たいていのところには学校がある。とくに小学校の教育はかなり普及している。

小学校の教育と同じくらいか、それ以上に行き渡っているものと言えば、キリスト教だ。ヴァヌアツでは一九世紀の前半に宣教師が布教活動を始めた。島々が二〇世紀の初めにイギリスとフランスの植民地になった後も、キリスト教各派は活動を続けた。その結果、今では人口の九割がキリスト教徒になっている。学校のないようなところにも教会はある。

このように、ヴァヌアツでは都市化やキリスト教化などが進んでいる。そこは「未開の世界」ではない。けれども、呪術のことも話題になる。そんな状況を前にして、文化人類学者ならば、「呪術が信じられている」わけをうまく説明するのかもしれない。そして、「呪術とはこれこれこういうものだ」と結論づけるかもしれない。

微妙な反応

しかし、である。「呪術が信じられている」と、さらっと言って済ませるだけで果たして良いのだろうか。フィールドで呪術をめぐる人びとの反応や対応などを見聞きするにつれて、そんなことを考えるようになった。

たしかに「呪術を信じている」と言う人もいる。しかし、反対に「迷信のようなものだろう」と否定的な反応を見せる人もいる。とするならば、ヴァヌアツの人びとも十人十色、さまざまな見方をもっている。だから「呪術が信じられている」と簡単には言えない、そうツッコミを入れることもできるかもしれない。

ただ、人びとのなかには「信じている」、「信じていない」などとわかりやすく答える人だけでなく、「よくわからない」と言う人や半信半疑であるような人もいる。秘密の術である呪術が使われているところを見ることなど、ほとんどできないことを思えば当然かもしれない。だからだろうか、病気になり、診てもらった民間の治療者から実際に誰かに呪術をかけられていると言われて、驚いたり戸惑ったりする人もめずらしくない。

「呪術が信じられている」と言ってしまうと、こうした「信じている」とも「信じていない」とも簡単には言えない微妙な反応は、忘れられてしまいそうだ。むしろ、そう言って済ませるだけでなく、微妙な反応を経て、呪術が現実味を帯びたものとして受けとめられたり、受けとめられなかったりする様子を詳しく追ってゆくことも、必要なのではないだろうか。それが、「ヴァヌアツの呪術とはこういうものだ」というわかりやすい答えにつながるかどうかは、ビミョウなところかもしれないが。

ポートヴィラの長老派教会。
ヴァヌアツは人口の9割近くがキリスト教徒（2006年8月）

コウモリ。食用にもなるが、
人が変身することも？（1995年6月）

治療儀礼をおこなう民間の治療者。植物に火をつけているところ（1996年1月）

下痢をした乳児の腹部を触診する
治療者（1996年2月）